



知ってますか？ 四国のツキノワグマの ほんとのところ

愛媛県では1972年に伊予市（旧中山町）で捕獲されて以降、記録の途絶えているツキノワグマ。四国には剣山系に辛うじて20頭ほどが生息しています。

このワークショップでは、ツキノワグマの毛皮や頭骨、糞の標本などの実物資料を観察し、触ってみることでツキノワグマがどんな動物かを知ってもらいます。また、調査から分かった四国のクマの分布や生態から絶滅の危機にある現状を学びます。

もともと四国山地の広葉樹林に広く生息していたツキノワグマは、林業の拡大と共に人間にとって都合の悪い存在になってしまいました。「野生動物との共存」は簡単なことではありません。四国でクマが増えたら？愛媛にクマがいたら？たっぷりクマについて考えてみましょう。

面河山岳博物館 特別展「絶滅危惧」関連イベント

ワークショップ 「絶滅危惧種 四国のツキノワグマを知ろう」

2025. **11.8** (土)

①11:00~12:00 ②13:00~14:00

★場所：面河山岳博物館 研修室

(愛媛県久万高原町若山650番地1)

★参加費：100円 ★定員：各回20人

★講師：安藤喬平さん

埼玉県出身。認定NPO法人四国自然史科学研究センター主任研究員。オーストラリアの大学で野生動物の保全生物学を学び、修士課程では日光・足尾山地でツキノワグマの研究に取り組む。

【参加申込方法】

お電話・FAX、フォームをご利用ください。
名前、電話番号、希望の回をお知らせください。

〈面河山岳博物館〉

TEL/0892-58-2130

FAX/ 0892-58-2136

